

事務事業名 乳幼児家庭教育学級事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：1676

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-21-00
基本事業：	02	家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	地域活動・学習活動に参加している市民の割合 ボランティアバンクの活動者数(延べ人員) ボランティアバンクの活動者数(実人員)		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成25年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象(誰、何に対して事業を行うのか)			2. 手段(事務事業の内容、やり方、手順)						
市立4保育所の保護者			各保育所で学習会と合同学習会を行う。						
3. 意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)			学習会概要 開催場所：市立4保育所 開催回数：3~4回/1保育所・年 学習内容：子どもに関すること 親自らの課題に関すること 豊かな市民性を身につけること その他：合同学習会を年に1度開催。 各学級の2~3人の役員が、学級運営や学習会の情報(合同研修会の計画・運営含む)を交換し合う連絡会を年4回実施。						
子どもの人権を守り、健全な成長発達に責任を果たせる親の養成を目指します。									
4. 成果(簡易評価は未記入)									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
学習会・合同学習会の参加者数		人	411	573	600	620			600
5. コスト									
事業費		計	千円	288	286	403	403		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	288	286	403	403				
正職員人工数		人工	0.2	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	1,599	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,887	1,095	1,210	403			
6. 成果状況及びコメント(簡易評価は未記入)									
あがっている	〔状況〕 平成30年度の参加者延べ人数は573人であり、平成29年度の411人から上昇している。								
どちらかといえばあがっている	〔原因〕 学級生(保護者)が自ら学びたい内容を企画しており、学級生のニーズを的確に捉えたことが、参加者数増加に結びついたと考えられる。								
あがっていない(停滞・低下)									
7. 評価及びコメント(簡易評価は未記入)									
対象動向	維持	類似事業	あり	類似事業として「家庭教育学級事業」がある。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案(簡易評価は必要な場合のみ記入)				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用(維持/事業終了の場合は記入する必要なし)									
学級生の満足度を調査するため、アンケートを実施し、成果指標に設定する。									
事業開始背景及び現在の環境変化(市民・議会等の要望)				備考・特記事項 or 進行管理欄					
保育所設立運動に関連して、市立4保育所を対象に実施されてきた事業。家庭教育を中心とした学習を実施していたが、平成25年度から乳幼児に特化した内容に移行。									